

徳山下松港国際物流ターミナル整備事業
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益		便益(令和11年度) (割引前)	
		単位	備考	単位	
利用者便益	輸送コストの削減	458	円/トン・年	船舶大型化等による海上輸送コスト削減	67.4 億円/年
残存価値	残存価値	埠頭用地及び荷役機械の残存価値			13.8 億円

* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(平成29年3月)/国土交通省港湾局」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費 等
事業の対象施設	下松地区：棧橋(水深19m)、臨港道路、荷役機械、埠頭用地 徳山地区：岸壁(水深14m(延伸))、航路(水深14m)、航路・泊地(水深14m) 新南陽地区：岸壁(水深12m(延伸))、航路・泊地(水深12m)